

# Shopify Changelog 週次レポート

2025年第51週

12/15-12/21

## この資料について

この資料は以下の2つのShopify Changelogの更新情報を、AIが評価して採点したものです。

### 情報源

[Shopify Changelog](#) / [Developer Changelog](#)

### 評価方法

AIが4つの基準をもとに各5点満点、**合計20点満点**で評価

マーチャント影響度 (5点)

パートナー影響度 (5点)

日本市場関連度 (5点)

技術的重要性 (5点)

### 優先度の分類

🔥 超重要 - 12pt以上

⚠️ 重要 - 8-11pt

📌 通常 - 8pt未満

 今週の更新

8

超重要

12pt以上

4

重要

8-11pt

0

通常

8pt未満

総更新数

12件

情報源

Shopify 5件 / Dev 7件

 目次

-  ディスカウントファンクションでディスカウントコードの拒否機能に対応 17pt
-  顧客マーケティングURLフィールドに書き込み権限が必要に 15pt
-  バルク操作の高速化 14pt
-  ロケーション間在庫移動レポート機能 13pt
-  フルフィルメントサービスから`permitsSkuSharing`フィールドを削除 13pt
-  Storefront APIがギフトカードのカート追加時に受取人情報の不足や無効時にエラーを返すように変更 13pt
-  チャージバック証拠提出フォームのリニューアル 12pt
-  MarketingEngagementCreateにコンバージョントラッキングフィールドを追加 12pt
-  refundCreateミューテーションでprocessedAtの設定と取得が可能に 11pt
-  Shopアプリによる店舗受取体験の改善 10pt
-  アナリティクスで分析手法を切り替え可能に 10pt

## 🔥 超重要更新 #1

ディスカウントファンクションでディスカウントコードの拒否機能に対応

17pt



元記事を読む

### 📝 AI分析サマリー

Discount Function APIがディスカウントコードの拒否機能に対応し、カスタムメッセージとともに条件付きでディスカウントコードを拒否できるようになりました。セール価格への二重割引の防止、ディスカウントコードの細かい組み合わせ管理、特定商品の割引除外などが可能になります。開発者はアプリを通じてマーチャントにより柔軟な割引制御機能を提供できるようになります。

### 📊 詳細スコア

マーチャント影響度 **4/5** ●●●○

パートナー影響度 **5/5** ●●●●

日本市場関連性 **4/5** ●●●○

技術的重要度 **4/5** ●●●○

17 2025-12-17

Developer Changelog

## 🔥 超重要更新 #2

### 顧客マーケティングURLフィールドに書き込み権限が必要に

15pt



元記事を読む

#### AI分析サマリー

セキュリティ脆弱性に対処するため、顧客のマーケティング配信停止URLなどのフィールドへのアクセスに、即日適用で `write_customers` スコープと `create_and_edit_customers` 権限が必要になりました。これらのフィールドを利用するアプリは、`read_customers` スコープのみでは権限エラーとなるため、スコープの更新が必須です。

#### 詳細スコア

マーチャント影響度 **2/5** ●●○○○

パートナー影響度 **5/5** ●●●●●

日本市場関連性 **3/5** ●●●○○

技術的重要度 **5/5** ●●●●●

17 2025-12-18

Developer Changelog

## 🔥 超重要更新 #3

### バルク操作の高速化

14pt



元記事を読む

#### 📝 AI分析サマリー

GraphQL Admin APIのバルク操作が大幅に高速化されました。すべてのミューテーションに対応し、ファイルアップロードサイズが100MBまで拡大（従来20MB）、さらに1ショップあたり最大5つの並行処理が可能になりました。大量データのインポート・エクスポート処理を分割して並列実行できるため、スロットリングや同時実行の管理なしに処理を高速完了できます。

#### 📊 詳細スコア

マーチャント影響度 **2/5** ●●○○○

パートナー影響度 **5/5** ●●●●●

日本市場関連性 **3/5** ●●●○○

技術的重要度 **4/5** ●●●●○

## 🔥 超重要更新 #4

### ロケーション間の在庫移動レポート機能

13pt



元記事を読む

#### AI分析サマリー

Analyticsに2つの新しいレポートが追加され、ロケーション間の在庫移動を詳細に追跡できるようになりました。「移動オーダーと出荷レポート」では注文・出荷・受領・承認・却下のデータを一元管理でき、「移動レポート」ではドラフトを含む全ての移動ステータスを確認できます。両レポートともCSVエクスポートやカラムのカスタマイズに対応し、複数拠点での在庫管理を行うマーチャントの業務効率化に貢献します。

#### 詳細スコア

マーチャント影響度 **4/5** ●●●○

パートナー影響度 **2/5** ●●○○○

日本市場関連性 **4/5** ●●●○

技術的重要度 **3/5** ●●●○○

## 🔥 超重要更新 #5

### フルフィルメントサービスから permitsSkuSharing フィールドを削除

13pt



元記事を読む

#### AI分析サマリー

APIバージョン2026-04以降、FulfillmentServiceオブジェクトから permitsSkuSharing フィールドが削除されます。SKU共有はすべてのフルフィルメントサービスでデフォルトで有効になり、在庫を複数のロケーションに配置できるようになります。フルフィルメントサービスを利用するアプリを開発している場合、コードから該当フィールドの読み書きを削除し、單一口 kojectionのみを前提とした業務ロジックを見直す必要があります。

#### 詳細スコア

マーチャント影響度 **2/5** ●●○○○

パートナー影響度 **4/5** ●●●●○

日本市場関連性 **3/5** ●●●○○

技術的重要度 **4/5** ●●●●○

## 🔥 超重要更新 #6

Storefront APIがギフトカードのカート追加時に受取人情報の不足や無効時にエラーを返すように変更

13pt



元記事を読む

### 📝 AI分析サマリー

APIバージョン2026-01以降、Storefront APIでギフトカードをカートに追加する際、受取人情報（メールアドレスなど）が不足または無効な場合、GIFT\_CARD\_RECIPIENT\_INVALIDエラーが返されるようになりました。以前は空のカートと空のuserErrorsが返されていましたが、この変更によりcartCreateおよびcartLinesAddミューテーションで適切なエラーハンドリングが可能になり、クライアント側でエラーを表示できるようになります。

### 📊 詳細スコア

マーチャント影響度 **2/5** ●●○○○

パートナー影響度 **4/5** ●●●●○

日本市場関連性 **3/5** ●●●○○

技術的重要度 **4/5** ●●●●○

## 🔥 超重要更新 #7

### チャージバック証拠提出フォームのリニューアル

12pt



[元記事を読む](#)

#### 📝 AI分析サマリー

Shopify管理画面のチャージバック証拠提出フォームが刷新され、より効率的な証拠提出が可能になりました。最も重要な項目を優先的に配置した再構成されたレイアウト、銀行に送信されるPDF文書の事前確認機能、AI活用による自動的な反論強化（オプション）、柔軟な提出期限設定などの新機能により、マーチャントは時間を節約しながらチャージバックの勝率を向上させることができます。

#### 📊 詳細スコア

マーチャント影響度 **4/5** ●●●○

パートナー影響度 **2/5** ●●○○○

日本市場関連性 **3/5** ●●●○○

技術的重要度 **3/5** ●●●○○

17 2025-12-17

[Shopify Changelog](#)

## 🔥 超重要更新 #8

### MarketingEngagementCreateにコンバージョントラッキングフィールドを追加

12pt



[元記事を読む](#)

#### 📝 AI分析サマリー

MarketingEngagementCreate ミューテーションに、primaryConversions（主要なコンバージョン）とallConversions（すべてのコンバージョン）の2つの新しいフィールドが追加されました。これにより、マーケティングプラットフォームが従来の売上指標以外のコンバージョンも追跡でき、Shopifyのマーケティングレポートに包括的なデータを統合できるようになります。購入や登録などの重要なイベントから、すべての顧客インタラクションまで、より詳細なマーケティング分析が可能になります。

#### 📊 詳細スコア

マーチャント影響度 **2/5** ●●○○○

パートナー影響度 **4/5** ●●●●○

日本市場関連性 **3/5** ●●●○○

技術的重要度 **3/5** ●●●○○

2025-12-17



[Developer Changelog](#)

## ⚠️ 重要更新 #1

refundCreate ミューテーションで processedAt の設定と取得が可能に

11pt



元記事を読む

### AI分析サマリー

Admin GraphQL API の refundCreate ミューテーションに、新しく processedAt フィールドが追加されました。これにより返金処理の正確なタイムスタンプを指定できるようになり、過去日付の返金処理や会計目的での正確な記録管理が可能になります。processedAt を指定しない場合は現在時刻が自動的に使用されるため、既存の統合への影響はありません。

### 詳細スコア

マーチャント影響度 **2/5** ●●○○○

パートナー影響度 **3/5** ●●●○○

日本市場関連性 **3/5** ●●●○○

技術的重要度 **3/5** ●●●○○

## ⚠️ 重要更新 #2

### Shopアプリによる店舗受取体験の改善

10pt



元記事を読む

#### 📝 AI分析サマリー

Shopアプリで店舗受取注文の処理がより迅速かつ簡単になりました。顧客は注文の準備状況をリアルタイムで確認でき、QRコードを使用することでスタッフはPOSで注文を即座に検索できます。これにより手動での注文検索が不要になり、待ち時間が短縮され、顧客は受取プロセスの各段階で最新情報を把握できるようになります。

#### 📊 詳細スコア

マーチャント影響度 **3/5** ●●●○○

パートナー影響度 **2/5** ●●○○○

日本市場関連性 **2/5** ●●○○○

技術的重要度 **3/5** ●●●○○

17 2025-12-17

Shopify Changelog

## ⚠️ 重要更新 #3

アナリティクスで分析手法を切り替え可能に

10pt



[元記事を読む](#)

### 📝 AI分析サマリー

アナリティクスレポート内で、フリーフォーム分析とコホート分析を切り替えられるようになりました。これまでコホート分析には専用レポートへの移動が必要でしたが、今後は同じレポート内で「売上のトレンドは?」から「顧客はリピートしているか?」といった異なる視点の分析にシームレスに切り替えられます。データを多角的に分析する作業効率が大幅に向上します。

### 📊 詳細スコア

マーチャント影響度 **3/5** ●●●○○

パートナー影響度 **2/5** ●●○○○

日本市場関連性 **3/5** ●●●○○

技術的重要度 **2/5** ●●○○○

## ⚠️ 重要更新 #4

スタッフ向けのBalanceカードの作成が可能に

8pt



[元記事を読む](#)

### 📝 AI分析サマリー

Shopify Balanceアカウントに紐づいたスタッフ用カードを作成できる機能がリリースされました。アカウントオーナーは自身のカード情報を共有することなく、従業員やビジネスパートナーに業務支出を委任できるようになります。スタッフは専用のカードを使ってBalanceアカウントの資金を直接利用できます。

### 📊 詳細スコア

マーチャント影響度 **3/5** ●●●○○

パートナー影響度 **2/5** ●●○○○

日本市場関連性 **1/5** ●○○○○

技術的重要度 **2/5** ●●○○○

# まとめ

---

2025年第51週 (12/15-12/21)

全 **12件** の更新を確認・分析しました

## 詳細情報

完全なレポートはこちらで確認できます

Web版: <https://Kite0301.github.io/shopify-changelog-watcher/>

ご確認ありがとうございました 🙏